

### I 第5週の発生動向 (2009/1/26~2009/2/1)

- インフルエンザについては、東地方+青森市保健所管内において新たに**警報**が発令となり、上十三保健所管内においては、先週に引き続き**警報**が継続、弘前保健所管内では新たに**注意報**が発令、八戸、五所川原保健所管内、むつ保健所管内においては**注意報**が続いています。
- 感染性胃腸炎については、むつ保健所において新たに**警報**が発令となっています。
- 急性出血性結膜炎については、五所川原保健所において新たに**警報**が発令となっています。

### II 第5週五類感染症定点把握 注：五類感染症定点把握疾病の警報・注意報については、二次保健医療圏単位で判定しています。

疾患番号・疾患名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 <small>(前週からの増減)</small>	東地方(再掲)		青森市(再掲)		定点数						
	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点		数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	
(85) インフルエンザ	443	31.64	172	11.47	277	19.79	181	25.86	402	44.67	102	17.00	1,577	24.26	564	4	2.00	439	36.58							
(74) RSウイルス感染症	1	0.11	2	0.22					3	0.50			6	0.14	3			1	0.13							
(75) 咽頭結膜熱	1	0.11	2	0.22							6	1.50	9	0.21	3			1	0.13							
(76) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	26	2.89	31	3.44	2	0.22	7	1.40	8	1.33	3	0.75	77	1.83	6	1	1.00	25	3.13							
(77) 感染性胃腸炎	93	10.33	93	10.33	28	3.11	12	2.40	38	6.33	95	23.75	359	8.55	11	18	18.00	75	9.38							
(78) 水痘	17	1.89	3	0.33	10	1.11	6	1.20	1	0.17	3	0.75	40	0.95	-25			17	2.13							
(79) 手足口病	21	2.33	18	2.00	4	0.44	1	0.20	3	0.50	3	0.75	50	1.19	24			21	2.63							
(80) 伝染性紅斑	4	0.44	9	1.00									13	0.31	4			4	0.50							
(81) 突発性発しん	9	1.00	1	0.11	5	0.56	3	0.60	5	0.83	3	0.75	26	0.62	10			9	1.13							
(82) 百日咳															0											
(83) ヘルパンギーナ															-2											
(84) 流行性耳下腺炎	11	1.22	4	0.44	1	0.11	1	0.20	1	0.17			18	0.43	10	1	1.00	10	1.25							
(86) 急性出血性結膜炎							1	1.00					1	0.09	1											
(87) 流行性角結膜炎	1	0.50			2	1.00	3	3.00	1	0.50			7	0.64	5			1	0.50							
(95) マイコプラズマ肺炎			1	1.00	8	8.00					4	4.00	13	2.17	5											

■ は警報 ■ は注意報 「空欄」：患者発生数0

### III 表II以外の感染症法対象疾患 (注：届出数は速報値です)

- (9) 結核(二類全数把握疾患)：八戸1人、上十三4人、青森市2人 (21年計：24人)
- (14) 腸管出血性大腸菌感染症(三類全数把握疾患)：青森市1人 (21年計：1人)
- (73) 麻しん(五類全数把握疾患)：弘前1人 (21年計：1人)

☞過去の全数把握疾患については、月報をご覧ください。

### IV 病原体検出情報

弘前地域の12/8採取のウイルス性胃腸炎患者1名の検査材料(便)から、アデノウイルス41型が検出されました。また、弘前地域の1/16採取の急性胃腸炎患者1名の検査材料(便)から、ノロウイルスGIIが検出されました。

## 感染症の感

## 麻しん (五類全数把握疾患)

今年初めての麻しん患者(検査診断例)(ワクチン未接種)の届出がありました。本疾患は、発熱、発疹、咳、鼻汁、コプリック斑などを症状とする感染症です。脳炎、肺炎などを引き起し重症化した後、後遺症や死亡する事例も報告されています。厚生労働省は、「2012年までに国内から麻しんを排除する計画」を策定しました。これを機会に、麻しん排除に向けた取り組みが国民ひとりひとりに求められています。目標に向けて、麻しんは、2008年1月より全数把握対象疾患になりました。2008年の累計は63人で、修飾麻しんの83%がワクチン接種歴有りでした(表)。2008年4月1日から5年間の期限付きで、麻しんと風しんの追加接種を実施することとなりました。

表 病型分類 (2008年 合計63人)

病型	人数
麻しん(検査診断例)	25
修飾麻しん(検査診断例)	18
麻しん(臨床診断例)	20

#### 修飾麻しんとは

届出に必要な臨床症状の1つ以上を満たし、かつ病原体診断がなされたもの。患者自身の症状は軽症であっても、感染力があり、感染を拡げる危険があります。

麻しん関連情報

: 厚生労働省「予防接種情報」<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/mashin-yobou/index.html>  
 国立感染症情報センター「2012年麻しん排除計画」<http://idsc.nih.go.jp/disease/measles/>

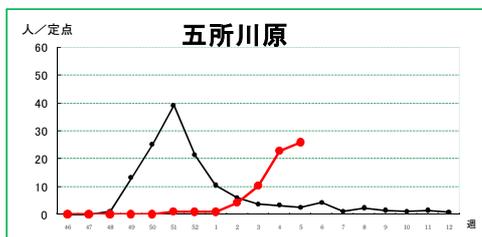
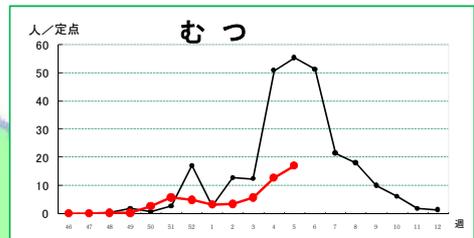
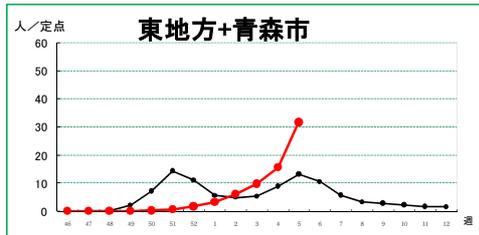
V インフルエンザ情報

迅速診断キットによる型別は、以下の通りです。

期間	型別/合計	東地方	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ	青森市
5週	A型	4	171	227	172	368	102	64
1/26-2/1	B型	0	1	8	9	16	0	0
	不明	0	0	42	0	18	0	375
	合計	4	172	277	181	402	102	439

VI-1 保健所管内別届出数推移

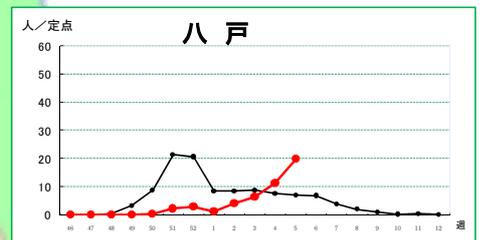
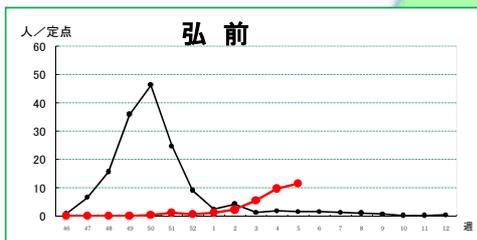
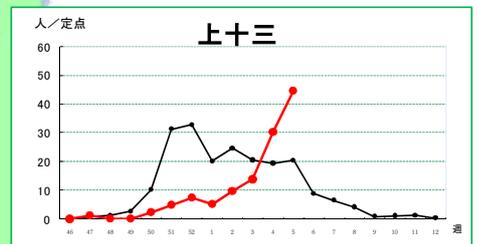
\* Acrobat ファイルは、最新のバージョンでお願いいたします。



届出数は、1577人  
(546人増)

**警報発令**  
東地方+青森市  
上十三

**注意報発令**  
弘前  
八戸  
五所川原  
むつ



●—2008-09年現在  
●—昨シーズン

V-2 全国及び青森県における届出数推移 (2007-2008シーズン - 2008-2009シーズン)



関連情報 ☞ 今年度の標語 《あ、その咳、そのくしゃみ～咳エチケットしてますか？～》

厚生労働省：今冬のインフルエンザ総合対策について <http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou01/index.html>

保健衛生課：インフルエンザの予防について [http://www.pref.aomori.lg.jp/welfare/health/08-09seasonal\\_flu.html](http://www.pref.aomori.lg.jp/welfare/health/08-09seasonal_flu.html)

インフルエンザワクチン予防接種実施医療機関情報 [http://www.pref.aomori.lg.jp/welfare/health/flu\\_shot.html](http://www.pref.aomori.lg.jp/welfare/health/flu_shot.html)